

# 電波時計 取扱説明書 (プログラム報時付掛時計)

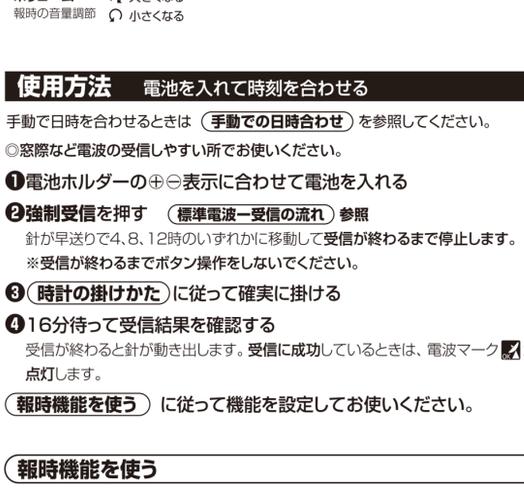
リズム株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12  
https://www.rhythm.co.jp

電池は付属しておりません。単2形アルカリ乾電池を2個ご用意ください。

## 各部の名称と役割

○図は操作説明用ですので、実際のものとは異なる場合があります。



**進む 戻る セット**  
手動で日時を合わせるときやチャンネルに時刻を設定するとき 사용됩니다。

**強制受信**  
電池を入れたとき、設置場所を変えたとき、強受信用したときに押します。

**液晶表示について**  
液晶表示は、時計を掛けて少し見上げる位置がくっきりと見やすくなっています。使用している液晶の特性上、他の方向から見ると、表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。

## 使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

手動で日時を合わせるときは **(手動での日時合わせ)** を参照してください。

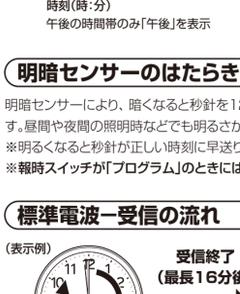
◎窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

- 1 電池ホルダーの ⊕ ⊖ 表示に合わせて電池を入れる
- 2 強制受信を押す (標準電波→受信の流れ) 参照  
針が早送りで4, 8, 12時のいずれかに移動して受信が終わるまで停止します。  
※受信が終わるまでボタン操作をしないでください。
- 3 時計の掛けかたに従って確実に掛ける
- 4 1分待つて受信結果を確認する  
受信が終わると針が動き出します。受信に成功しているときは、電波マーク が点灯します。

**(報時機能を使う)** に従って機能を設定してお使いください。

## 報時機能を使う

報時機能は、報時スイッチにより選択して使用することができます。  
①「プログラム」: 事前に設定した時刻にウェストミンスターチャイムを鳴らすプログラム報時。  
②「毎正時」: 毎正時、たとえば10時00分に「ボーン」と10回鳴らす毎正時報時。



**報時スイッチ**  
報時機能を選択してください。  
**プログラム**: 設定時刻にウェストミンスターチャイムが鳴ります。  
**事前**: 時刻を設定する必要があります。  
※「プログラム報時の設定」参照

**モニター**  
報時音を試聴するとき押ししてください。  
**報時音を試聴**を「プログラム」または「毎正時」にしてからモニターを押してください。  
**プログラム**: ウェストミンスターチャイムが鳴り、カレンダー表示部に設定時刻を順に表示します。  
**毎正時**: 現在時刻に対応した数だけ「ボーン」と鳴る。  
**OFF**: 鳴りません。  
※試聴の途中で止めるには、モニターを押してください。

## プログラム報時の設定

24チャンネルに設定することができます。  
○チャンネルに時刻を設定すると、その時刻にチャイムが鳴ります。..... ④へ  
○設定したチャンネルを解除(鳴らなく)するには、時刻を未設定にします。..... ④へ  
※1つのチャンネルに1つの時刻を設定できます。分単位で時刻を設定できます。  
※設定の内容は、電池を取り外しても保持されています。

**強制受信** 押すと設定を終了して針が動き出します。受信機能がONのときは受信を開始します。  
**セット** が指定されているときは押し続けます。チャンネルの選択や時刻を確定するときを押してすぐ離す。

**チャイムを鳴らす時刻の設定**  
① **セット** をCH1が表示されるまで約2秒間押し続けます。  
② **セット** を押してチャンネルを選択。  
③ 時刻を進むまたは戻るで設定して**セット** を押す。→②へ  
CH 24 (チャンネル 24) のときに**セット** を押すとカレンダー表示に戻ります。  
※設定を終わるには、**セット** を約2秒間押し続けるとカレンダー表示に戻ります。

**ポタン操作** 押してすぐ離す 押し続ける  
進む 1つ進む 早送り  
戻る 1つ戻る 早戻し

**④チャンネルに設定した時刻の解除**  
① **セット** をCH1が表示されるまで約2秒間押し続けます。  
② **セット** を押し解除するチャンネルを選択。  
③ 進むと戻るを同時に押すと時刻が未設定に変わる。→②へ  
CH 24 (チャンネル 24) のときに**セット** を押すとカレンダー表示に戻ります。  
※設定を終わるときは**セット** を約2秒間押し続けるとカレンダー表示に戻ります。

## プログラムチャンネルの表示例

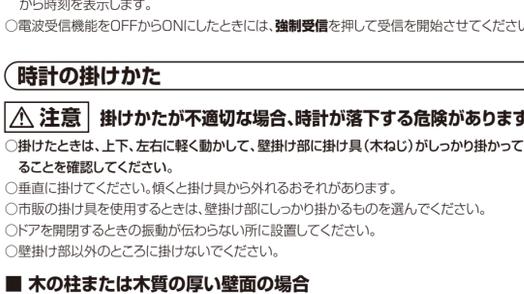
④⑥のときは点滅表示。  
時刻未設定の表示例  
CHはチャンネルを表しています。  
CH1~CH24  
時刻設定中または設定済みの表示例  
時刻(時:分)  
午後時間帯のみ(午後)を表示

**⑤設定内容を確認するには**  
① **報時スイッチ** を「プログラム」にする。  
② **モニター** を押す。  
チャイムが鳴り、およそ1.5秒間隔でCH1から順に表示します。表示途中で止めるには**モニター** を押してください。

## 明暗センサーのはたらき

明暗センサーにより、暗くなると秒針を12時位置で停止させ、「毎正時」の報時を停止させます。昼間や夜間の照明時などでも明るさが不十分だと明暗センサーが反応します。  
※明るくなると秒針が正しい時刻に早送りで復帰します。  
※報時スイッチが「プログラム」のときは、暗くても報時をします。

## 標準電波→受信の流れ



**強制受信** を押すと針が早送りで4, 8, 12時のいずれかに移動して停止  
① **電波マークの変化(電波サーチ機能)**  
短い間隔で点滅してから、1秒点滅で電波の状態に応じ変化します。  
受信できません ..... 受信しやすい  
② または③の状態が続くときは設置場所を変えてください。  
② **受信結果の見かた**  
▶ **受信成功** 電波マーク が点灯表示。  
電波マークは受信成功後、およそ25時間点灯します。  
▶ **受信失敗** 電波マークが消灯。  
表示されている時刻は正しくありません。⇒ **標準電波を受信できない場合**

※受信に成功しても日時が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信を押し続けてください。  
※受信マークは、25時間以内の受信結果を表します。

## 標準電波を受信できない場合

- 朝までその夜間は電波状態が悪くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておく
- 一般的に、夜間は電波状態が悪くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておく
- 受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す  
電波の受信しにくい窓や取り除く取説の日本地図を参考に、時計の正面または裏面に電波の送信所になるべく向けて、**強制受信** を押して再度受信を行ってください。
- 日時を合わせて使用する  
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で日時を合わせて使用してください。電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

## 手動での日時合わせ

電波を受信できないときや任意の日時に合わせるとき

操作例 2015年12月25日 午前10:37

① **設定状態**に進むまたは戻るを西暦年が点滅するまで、約3秒間押し続けます。  
② **西暦年** 西暦年を進むまたは戻るで合わせて**セット**を押す。  
③ **月日** 月日を進むまたは戻るで合わせて**セット**を押す。

④ **時刻** 時刻(時:分)を進むまたは戻るで合わせて午後時間帯のみ **セット** を押す。  
「午後」を表示。  
⑤ **電波受信ON/OFF** 選択  
ON OFF 進むまたは戻るで、電波受信のON/OFFを選択して**セット**を押すと、カレンダー表示に切り替わり、針が早送りして、設定した時刻に移動してから、時を刻みはじめます。

## 電波受信機能のON/OFFについて

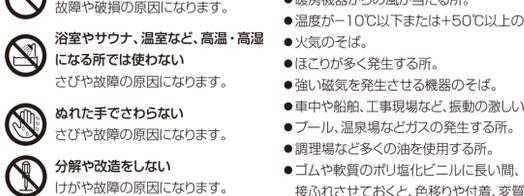
ON: 定期的に受信を行い、受信に成功すると日時を自動修正します。  
OFF: 電波を受信しません。遅れ込みが発生したときは、手動で日時を修正してください。  
○回路内に電荷がなくなった後に、電池を入れたら電波受信機能はONになります。  
○受信機能のON/OFF設定は「**手動での日時合わせ**」の中で行います。  
○電波受信機能をOFFのときに、**強制受信** を押すと一時的に液晶表示が消え、針が早送りしてから時刻を表示します。  
○電波受信機能をOFFからONにしたときには、**強制受信** を押して受信を開始させてください。

## 時計の掛けかた

**注意** 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。  
○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ)がしっかりと掛かっていることを確認してください。  
○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。  
○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかりと掛かるものを選んでください。  
○ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。  
○壁掛け部以外のところには掛けしないでください。

## 木の柱または木質の厚い壁面の場合

●続ける木ねじが使用できる場合は、木の柱または木質の厚い壁面です。  
●木ねじは下図のとおり、壁面につかぬじ込んで固定してください。



## 石こうボードの壁面の場合

付属の取付金具を使用できる場合は、石こうボードの取付金具です。  
●壁の材質、取り付け方法を確認の上で使用ください。  
●取付金具は水平に取り付けてください。傾けて取り付けると時計が傾きます。  
●取付金具には、3.5kg以上のものは掛けしないでください。

**金具の取り付け方法**  
金具を水平にして①②の順序でクギを押し込む。このとき、金具の穴に対して垂直に押し込む。

## その他の壁面の場合

コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具を使用してください。その際、石膏壁や吸音材が時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

## 電池の交換時期お知らせ機能について

電池の交換時期になると、秒針が12時位置に停止して、液晶表示部に電波マークが表示されます。このような状態になったときには、速やかに新品の電池にすべて交換して、**強制受信** を押してください。  
電池マークが表示されると次の機能が停止します。  
①標準電波の受信  
②毎正時の報時  
プログラムチャイム機能は停止しません。  
時計と分針はこのような状態になったら1ヵ月程度動き続けます。

## 注意 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

- 電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。
- 時計が停止したときは、速やかに新品の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いているにも2年に1回定期的に交換を。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。

## 静電気の影響について

静電気の影響により、正常に動かなくなる場合があります。このようなときには、**強制受信** を押してください。

## お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

## 電池・製品の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセオリーボックスなどで絶縁してください。

## おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃*結露しないこと
液晶表示可読温度	0～40℃
時間精度	標準電波を受信成功直後の表示精度 秒針 ±1秒 分針 目盛りに対して±3度
推奨電池	単2形アルカリ乾電池 JIS規格 LR14 1.5V 2個
電池寿命	約2年 標準電波の受信に成功して、秒針が1日当たり8時間停止 プログラム報時を10回/日 音量中で鳴らした場合
暗所秒針停止	明暗センサーと連動して12時位置に停止
カレンダー交換時期	液晶表示 2012～2099年対応
電池の交換時期	電波マーク点灯、秒針12時位置に常時停止
お知らせ機能	時刻に応じた数だけ「ボーン」と鳴る 電波受信機能 標準電波受信による時刻修正 受信/ON/OFF あり 受信は行わない
報時自動鳴り止め	明暗センサーと連動して毎正時報時 受信開始時刻 2, 3, 4, 12, 13, 14時
プログラム報時	時刻を停止してウェストミンスターチャイムを鳴らす 自動受信/回数 最少1回/日 最多6回/日
チャンネル	24チャンネル(24の時刻を設定可能) 受信は行わない
音量調節	ロータリー式ポリューム 受信開始時刻 各時間帯の16分20秒
モニター	報時音の試聴 自動受信開始時刻 約2時16分20秒は必ず行う
防塵防滴機能	

液晶表示について  
0℃以下では表示が薄くなったり、反応が鈍くなったり、消えたりすることがあります。40℃以上では表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。温度が0～40℃になれば正常に戻ります。  
※液晶の寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。  
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 木ねじ 1個、取付金具 1個、くぎ 4個、保証書 1枚

## 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

**図記号の説明** ○は、禁止(してははいけない)ことを示しています。  
●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

## 警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- 誤飲を防止するため、小さなお子様や電池は、幼児の手が届かない場所に置かない  
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。
- 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するため、次のことを守る  
●電池に傷をつけない。  
●電池を分解しない。  
●電池をショートさせない。  
●電池を充電しない。  
●電池を加熱しない。  
●電池を火の中に入れてはいけません。
- 梱包用のポリ袋をかぶらない  
窒息する恐れがあります。
- 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない  
●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害を生ずる危険性が高くなります。  
●電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社総合サポートにお問い合わせください。

## 注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

- 電池の ⊕ ⊖ を正しく入れる  
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。
- 強い振動や衝撃を与えない  
故障や破損の原因になります。
- 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない  
さびや故障の原因になります。
- ぬれた手でさわらない  
さびや故障の原因になります。
- 分解や改造をしない  
けがや故障の原因になります。
- 下記のような状態では使わない  
性能の低下や部材の変形、変色、劣化の原因になります。
- 直射日光が当たった所。  
●暖房機器からの風が当たった所。  
●湿度が10℃以下または+50℃以上の所。  
●火気のそば。  
●ほこりが多く発生する所。  
●強い磁気を発生させる機器のそば。  
●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。  
●プール、温泉場などのガスが発生する所。  
●調理場など多くの油を使用する所。  
●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくこと、色移りや付着、変質をすることがあります。

## 電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

### 電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。  
●長期間使用しないときは電池を取り外す。  
●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。  
●古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 時計が動いているにも定期的に交換する。  
●時計が止まっても電波を受取り外す。  
●幼児の手が届かない所に置く。  
●種類の異なる電池を混ぜない。

## 電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。  
●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には向きませんので使用しないでください。  
●一部の電池は、形状的に本製品には向きません。 (例: Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※EVOLTAは、パナソニック株式会社の登録商標です。

## 電池の寿命について

●温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。  
●買い置きした電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

## 電波時計について

**電波時計とは**  
クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

## 標準電波とは

標準電波(JY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。  
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。  
標準電波送信所は、福島県の「福島局」: おおたかや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局」: はがね山標準電波送信所」の2か所にあります。  
標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://ijiy.nict.go.jp)  
※アドレスは変更になる場合があります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

## 電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の戸戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝方の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

## アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社総合サポートにお問い合わせください。保証期間中は、販売店の保証書が必要です。

### 修理部品の保有について

電子回路や車庫などの修理性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきます。

●修理期間が過ぎて  
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。  
Service and technical support for this product are available only within Japan.

**お問い合わせ先** リズム総合サポート <https://rhythm.jp/support/>  
商品照会の際は、製品裏面または底面に表示してある製品番号(型番)をご確認ください。  
例: 4FN○○○, 4FNA○○○  
お客様相談室: 0120-557-005 受付時間 9:00～17:00(土、日、祝日および当社休日を除く)

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してはなんら責任を負いかねますのでご了承ください。